

献 呈 の 辞

新潟大学法学会会長

沢 田 克 己

この度、駒宮史博先生は2018年3月末をもって御定年を迎えられ、本学を退職されます。

新潟大学法学会会員一同、駒宮先生のこれまでの長年のご貢献に感謝し、ご業績を讃えて、ここに「法政理論」の記念号を献呈させていただきます。

駒宮先生は、東京大学医学部保健学科をご卒業の後、同大学医学系大学院保健学修士課程を経て、1978年4月に国税庁に入庁されました。同庁において東京国税局調査部国税調査官、国税庁国税審議官室主査としてご活躍になり、総理府国鉄再建監理委員会事務局主査として国鉄（現JR）の分割民営化案策定に従事され、さらに福井県小浜税務署長、大蔵省主税局国際租税課課長補佐として租税条約交渉をご担当された後、国税庁調査査察部調査課課長補佐として導入後間もない移転価格課税調査の全国一元監理や大企業の法人税調査の方針決定に携わるなどの要職をご歴任になりました。こうしたご経歴を経たうえで、1994年7月に新潟大学法学部に助教授としてご赴任になり、その3年後の1997年7月に教授にご昇任されました。2004年4月に大学院実務法学研究科（法科大学院）が設立されると同時に、同大学院を担当されました。2017年4月からは、再び法学部をご担当です。

その間、1997年6月から1年間、フルブライト奨学金及び租税資料館奨学金にてハーバード大学法学大学院及びハーバード大学行政大学院にて在外研究に携わられ、1991年にはカリフォルニア州立大学経営管理学修士（MBA）、1988年にはハーバード大学行政大学院行政管理学修士（MPA）を取得され、さらに1998年にはハーバード大学法科大学院国際租税法コース（ITP）修了証を取得されました。

駒宮先生は法学部、大学院実務法学研究科および大学院現代社会文化研究科において、主に租税法、国際租税法の講義・演習（日本人学生および外国人留学生向け）をご担当になり、多くの法曹、税理士をはじめとして有能な人材を社会に輩出されてきました。とくに、多くの外国人留学生の指導に熱心にお取り組みになり、殆どの英語系大学院留学生の主旨導教員または副指導教員として懇切丁寧な指導を行い、外国の研究者、実務家の養成にご尽力くださいました。北米、欧州の多くの交流協定校からの派遣留学生の教育が円滑に行われていることも、駒宮先生のご努力の賜物です。法学部の学生はもちろん、新潟大学法学部は駒宮先生のご貢献に厚く感謝いたしております。

駒宮先生の研究業績は著書（共著）12冊、論文33編にのぼります。その中には、高く評価されて日税研究賞（日本税理士連合会主催）特別賞を受賞した論文があります。その他、日本語または英語による多くの判例評釈・解説・翻訳等があります。その内容はわが国の租税法のみならず、国際租税法を幅広く捉えるテーマであり、刮目すべきご業績です。

多忙な学術研究生生活を過ごされる中、駒宮先生は学外においても、新潟市包括外部監査委員、新潟県税制調査会委員、国土交通省日本人船員に係る税制に関する検討会委員、新潟県聖籠町企業立地促進検討委員会委員長、新潟県森林整備財源委員会副委員長といった多数の政府、自治体の学外委員を歴任され、政府、地域に多大なご貢献をなさいました。2012年度・2013年度において、本会の会長もご担当くださいました。

本年3月にご定年にてご退職されるにあたり、これまでの新潟大学全体、とくに新潟大学法学部、大学院実務法学研究科および大学院現代社会文化研究科、ならびに多くの（内外の）学生、社会への多大のご貢献に心から感謝申し上げるとともに、今後も御身大切になされ、いつまでもお元気でご活躍されることをお祈り申し上げます。

2018年3月吉日